

第20回岩手障がい者技能競技大会
「チャレンジいわてアビリンピック 2022」

縫製 ・ 縫製～洋裁入門コース～

共通 競技課題

1 課題 エプロン製作

裁断済みの支給された材料で右図スタイルの
エプロンを製作しなさい。

- 2 競技時間 3時間00分 (標準時間)
3時間30分 (打ち切り時間)

3 注意事項

- (1) ミシンの調整は、各自で行う。
- (2) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
- (3) 競技中の工具の貸し借りは禁止する。
- (4) 競技が終了したら審査員に申し出る。

4 仕様

- (1) 肩 ひ も：2cm のでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (2) 腰 ひ も：4cm のでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (3) ダ ー ツ 縫 い：中縫いをする。縫い代は中心側へ倒す。
- (4) ポケット
ポケット口：1cm、2cm で三つ折り縫いとする。
ポケット付：(図1) ポケットの付け方を参照する。
端ミシン、押さえ金の幅 (0.6cm) のダブルステッチとする。
- (5) 見 返 し：見返し布の下側を 0.5cm、1cm の三つ折り縫いとする。
- (6) 肩 ひ も 付 け：見返しに挟み付ける。
- (7) 袖ぐりカーブ：1cm 折り、袖ぐりから胸のステッチ幅は 0.6cm の押さえ金の幅でかける。
- (8) フリル
フリル作り：できあがり幅 10cm、裾、両端は 0.5cm の三つ折り縫いとする。
フリル付け：ギャザーを寄せ、身頃の裾につけ (付け縫い代両端はわき縫いで挟み付ける)、押さえ金幅 (0.6) のステッチをかける。
- (9) 脇：1cm、1.5cm で三つ折り縫いとする。ステッチの順序はフリル付けの後、腰ひもを挟み込み、脇縫いをする。

5 支給材料

表地：裁断済み無地ブロード生地を2着分支給する。(1着分は練習用とする)

袖ぐりはバイアステープを接着し、ロック処理済みの物を持参する。

フリル上部はロック処理済みで、三方を三つ折縫いし、ギャザー寄せできる状態の物を持参する。



縫製競技使用用具一覧表

1 競技者が持参するもの

品名	規格	数量	備考
縫製用具類一式	適宜	適宜	家庭用ミシン、ミシン糸、敷布、 裁ばさみ、小ばさみ、ものさし、 ステッチ定規、アイロン、水入れ、 ハケ（小） 他必要な補助具等

2 競技会場に準備してあるもの

品名	規格	数量	備考
作業台	1 5 0 0 × 4 5 0	適宜	